

### 現地報告

市役所及び白米千枚田愛耕会(棚田保全体団)の復旧、保全活動への提案を行いました。

一般財団法人日本グラウンドワーク協会は白米千枚田(世界農業遺産:輪島市)の復旧、保全活動に関して、輪島市保全体団)に対して提案を行いました。輪島市役所は、白米千枚田の営農維持について、これまで白米千枚田の約半分(棚田500枚)の営農を担っていた愛耕会のメンバーが多く被災され、人手が減っていることから、棚田保全活動の担い手には、愛耕会だけに頼るのは厳しく、様々な人々の確保を検討しているとのことでした。

当協会は、協力要請があれば大学生を派遣することが可能であることを提案しました。また、災害対応で市役所職員が大変忙しいことにかんがみ、輪島市役所が事務局を務めている公益財団法人白米千枚田景勝保存協議会の事務作業について、当協会が一部代行等も可能であることを提案しました。

白米千枚田愛耕会に対しては、白米千枚田の復旧工事については、技術的に難しく、また人力で行うには十分な安全を確保する必要があることから行政に任せ、復旧後のソフト面の体制づくりに注力するべきでは、と提案を行いました。愛耕会は棚田保全体制の強化や様々な事業展開のために法人化の検討も行っており、当協会に法人化の手続き等設立について相談に乗ってほしいとの依頼がありました。また、被災にあった居住地の南志見集落の営農飲雑用水施設の普及のために、なにかよい補助金制度がないか協会に相談がありました。



### 新サークル

学生サークル「白米千枚田学生応援隊」を設立しました。

輪島市役所及び白米千枚田愛耕会から棚田保全活動に若者の応援が欲しいという依頼があり、石川県立大学の学生に呼びかけ、学生サークル「白米千枚田学生応援隊」を設立しました。

部員は16名で、女性14名、男性2名。活動内容は、①棚田での農作業、②イベントの運営、③棚田保全や地域に関する情報発信の応援です。早速5月の田植えイベントの運営の応援をします。

サークルの設立は、石川県立大学当局も能登の復旧、復興支援のきっかけになると評価をしており、学生の活動を積極的に支援するとしています。



### 「学部を変えるという選択」

琉球大学 教育学部 二年次 前田華七海

あなたは大学にある転学部という制度を知っているだろうか。名前から何となく想像はつくかもしれないが、同じ大学内で現在在籍している学部から別の学部に移籍することを言う。一般的には転部と呼ばれることのほうが多いが、私の在籍する琉球大学では転学部とされているのでこちらで話そうと思う。

私は2022年度に琉球大学に入学し、国際地域創造学部の夜間主の学生として一年間勉学に励んだ。この学部では途中からいくつかのプログラムにわかれるのだが、その際に入学前から入りたいと考えていた経営プログラムに進むことができなかった。希望者が多かったのだ。配属されたプログラムで頑張ろうとおよそ半年努力したが、あまり興味のない分野の課題に追われる日々は苦痛で進路を考え直すことにした。その際に年次担当教諭に進められたのが転学部である。琉球大学内の別の学部に移籍できれば、講義の履修条件にもよるが国際地域創造学部経営プログラムの講義もとることができ、更に一年次でとっていた共通教育科目の単位が移籍先の学部でも卒業単位にカウントすることができるのだ。

高校で美術系の学科の在籍していた私は進路を見つめなおしていた時に美術をまた学びたいと考え始めており、教育学部の美術教育専修への転学部は非常に魅力を感じた。在籍している学部の教員、移籍希望先の学部の教員とそれぞれ面談を重ね、面接などの試験をこなし、昨年教育学部美術教育専修への移籍が叶った。ちなみに、転学部は学年そのまま移籍することも多いらしいのだが、教育学部は教員免許取得の都合上、学年毎の必修があり前学年での必修の履修が前提の科目も多いため、相談の結果一年次への移籍になった。

2024年度に転学部をして一年が経ったが、転学部してから大学生活が楽しく、自分の選択にとっても満足している。転学部前は必修、選択必修の単位をとることだけで精一杯だったが、今はそれ以外に興味のある講義をとる余裕ができたし、自学部の講義も自分が面白いと感じるものが多く楽しく学ぶことができています。また、夜間主の際は講義の時間と被るという理由で所属を諦めていたサークル活動にもチャレンジすることができた。現在は演劇サークルの所属し舞台上で使う道具を制作したりしている。転学部を提案してくれた当時の年次担当の先生、転学部を受け入れてくれた美術教育専修の先生方、転学部を応援してくれた、学費や日々の生活を支えてくれている両親に感謝し残りの大学生活も励もうと思う。

あなたは、卒業のためだけに作業のように単位を獲得する日々を送ってはいないだろうか。私は今回転学部という選択をしたが、学部内での転科や転コースの制度がある大学もあるし、大学をやめて別の大学を受験したり、短期大学や専門学校へ入学したり、学校での学習に興味が無ければ就職したりするという選択肢もあった。大学によって設けられている制度やその条件は異なるが、私たち学生には意外と多くの選択肢があるのだと、今回の件で知ることができた。もしあなたも自分の大学生活に疑問を抱いているのなら、自分の進路を見つめなおし、時には大きく舵を切ってみてもいいかもしれない



□ 入鹿池(愛知県犬山市)



愛知県北西部の犬山市に位置する、堤高 25.7m、堤長 724.1m、有効貯水量1,518万立法メートルの入鹿池は、全国最大規模を誇り、2市2町(犬山市、小牧市、大口町、扶桑町)に及び642haの受益地へかんがい用水を供給している農業用ため池です。

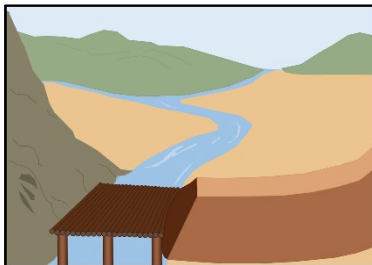
築造にあたり、河川を締め切るための堤防を棚築(たなづき)工法を用いて完成させました。入鹿池の3つある堤防のうち、この工法で築いた堤防は河内堤と呼ばれています。2015年に世界かんがい施設遺産に登録されました。

棚築(たなづき)工法

築造の手順

- 1) 川の締め切り場所が最も狭くなるように土を盛り上げる。
- 2) 松の木を用いて、締め切り場所に仮橋を渡る。
- 3) 仮橋に油を注ぎ、さらに松葉、枯れ枝を敷く。
- 4) 仮橋の上に土を盛る。
- 5) 仮橋に点火する。
- 6) 橋が燃え落ちると同時に盛った土が落下し、川を堰き止める。

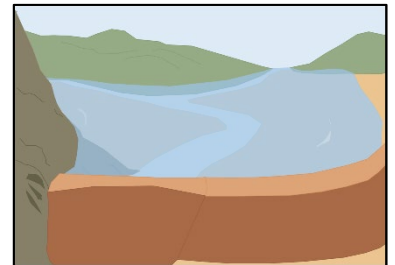
※イメージ図



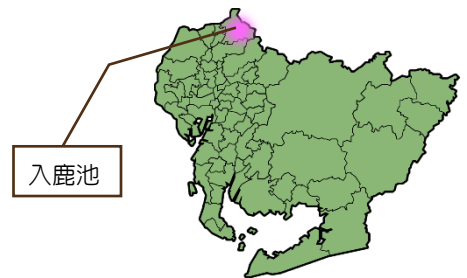
手順 1)～ 3)



手順 4)～ 5)



手順 6)



国宝犬山城を訪れたら、犬山城下町で食べ歩き！

曲者…ならぬ“串物”の町で知られる犬山城下町。明治時代から伝わる郷土料理の「でんぐく」や「五平餅」をはじめ、香ばしい醤油おこげ串や、カラフルな串団子など、工夫を凝らしたユニークな串メニューがたくさんあります。

散策途中にちょっと甘いものが食べたいときや、小腹を満たしたいときにぴったりです。ぜひ一度訪ねてみてください！



# 「歴史的農業水利施設・棚田等を見に行こうよ助成事業」

## 1. 内容

大学生のみのグループによる農業水利施設等(歴史的農業水利施設、ダム、棚田等)の見学に要する交通費等を助成する。周辺の観光地もあわせて見学可能です。

## 2. 見学施設場所

大学が所在する地方農政局管内の「指定の農業水利施設等の施設」※  
※協会にご相談ください。 指定施設以外でも見学可能です。(要相談)

## 3. 対象者 以下のすべての条件を満たすこと

- 全学部の1、2年、3年、4年、M1、M2の学生
- 1グループの参加人数:3人以上。必ず1年生または2年生が1人以上参加すること。

## 4. 見学費用への助成金

1グループ40,000円以内(超える分は自己負担)

### ①交通費:実費

- 1)公共交通機関利用の場合:大学所在地～現地施設最寄りの駅までの交通費
- 2)レンタカー利用の場合:レンタカー代、ガソリン代、保険、高速道路料金

### ②昼食代:1人1,000円以内

### ③国内旅行保険:1人500円以内

※見学に係る怪我、事故は自己責任となります。

## 5. 申込期間

令和7年5月1日～令和8年2月20日

※助成金がなくなり次第終了となります。

## 6. レポートの提出

見学後、各自レポートA4版3枚(含む写真)以上を提出  
(注)レポートは、冊子等により配布する場合があります。

## 7. 申込・問い合わせ先

一般財団法人日本グラウンドワーク協会にメールにて申込みとなります。

申込様式は協会にお問い合わせください。

TEL:03-6459-0324 Email:nakazato@groundwork.or.jp

【参考】令和3～6年度参加者の所属参加大学及び参加人数 160名

弘前大学、宇都宮大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、明治大学、信州大学、石川県立大学、三重大学、京都大学、岡山大学、九州大学、宮崎大学、琉球大学、熊本農業高校



農業土木に関連する企業・団体が日々の業務で取り組んでいる技術情報を紹介する「農業土木技術一プロの仕事」。今回は、河川を横断する用水路(水管橋)の機能診断技術をご紹介します。

## 1.対象施設の概要

調査対象施設は、口径φ350mm(鋼管)、延長L=67.1mの水管橋(河川横断)です。

この水管橋は、昭和60年に建設され、40年が経過しているため、劣化の進行の恐れがありました。

## 2.調査内容と方法

### 【調査内容】

鋼管の主な劣化は、塗装の劣化と腐食(錆)です。

こうした劣化が進むことで、管の厚みが減少し、漏水等の原因となります。このため、管の表面の劣化状況の確認と管の厚みの調査を行いました。

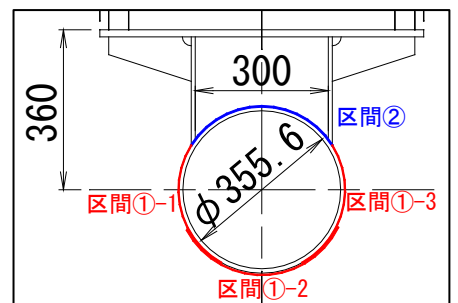
### 【調査方法】

塗装の劣化は、管表面の目視調査により行いました。

管の厚みは、どの部分で劣化が進んでいるかは表面の目視調査では判断できないため、管円周上の確認が可能な超音波探傷試験により調査を行いました。この調査は、写真にあるとおり一度に管周の1/4程度の調査が可能で、今回は、区間①の範囲を3分割してこの方法で調査を行いました。結果は、管厚が減少している箇所が画像で判断できます。超音波探傷試験で場所を特定し、局所的な詳細調査を行いました。



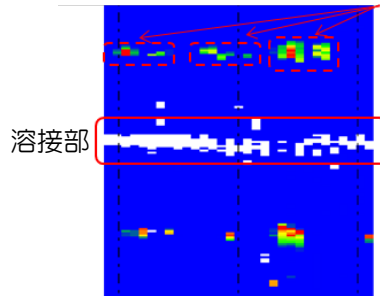
対象施設の全景写真



対象施設の断面図



超音波探傷試験(区間①)



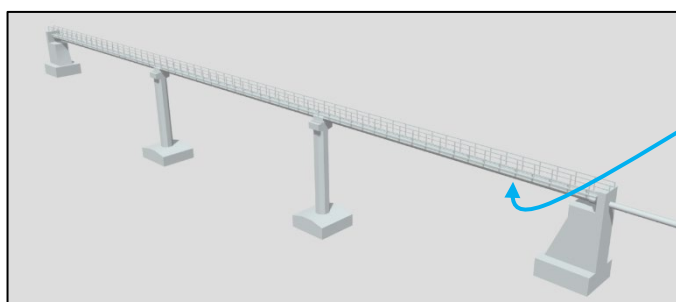
超音波探査結果



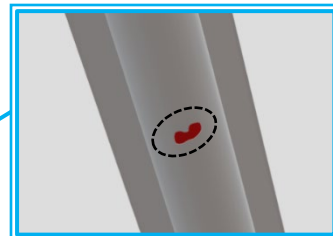
局所的な調査状況

## 3.調査結果

診断の結果、管の厚みが減少している箇所は、管と管との溶接部分に多いことが分かりました。また、管の劣化部分を可視化するため、水管橋の3Dモデルを作成し、劣化位置を再現しました。



劣化部分の見える化



劣化箇所



詳しくはコチラ

## 「農業農村を応援する大学生サークル」の活動紹介

### ■「信州大学村づくり応援隊」の活動紹介

村づくり応援隊は信州大学農学部サークルです。私たちは、地域の方と協力し、地域の活性化を目的として活動しています。基本の活動では、キャンパスの近くでの畑作業とボランティア活動を行っています。昨年は農学部の学祭である落葉松祭に出店し、南箕輪村産のサツマイモを使用したイモけんぴを販売しました。

#### 畑管理

年間を通して畑の管理を行っています。地域の方々から農地をお借りし、様々な野菜を育てています。今年は、Inadani seesさんのコンポストプロジェクトに参加し、堆肥を試験的に導入します！



#### まっ君田んぼボランティア

村の子供を中心に農業体験をしたい方に、田植えから収穫、食べるまでを体験できるイベントです。村づくり応援隊では、作業の手伝いをさせてもらうとともに、子供たちとのレクリエーションを行っています。

#### ベトリンピック

今年度は、新企画田んぼでの運動会「ベトリンピック」の開催にも協力させていただきます！



## 農業農村を応援する大学生サークル」の活動状況(Instagram)

□日本グラウンドワーク協会公式公式Instagramにアップしています。

<https://www.instagram.com/groundworkassociationjp/>

[発行・お問合せ先等] 一般財団法人日本グラウンドワーク協会 中里

Tel:03-6459-0324 Mail:[nakazato@groundwork.or.jp](mailto:nakazato@groundwork.or.jp)

グラウンドワークとは「協働で地域をよりよくする」という意味です。当協会は、「中間支援団体」として①地域活性化、②環境保全、③福祉、④棚田保全等社会的課題解決を目的に、若者(大学生等)参加及び男女共同参画による協働を主軸にした、いわゆる「日本型グラウンドワーク」を推進しています。